

学校だより

川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第23号

令和7年3月24日

文責 校長 馬郡直樹

修了式・辞任式
開催

1年間、ありがとうございました。

令和6年度修了式と辞任式を開催しました。1, 2年生に対して卒業式の準備等について感謝の気持ちを伝えました。その後1年間の振り返りと来年度について話し、シアトルマリナーズのイチローさんのエピソードについて話をしました。以下、校長の話の要約です。

この1年間、個人として、集団としてどのように成長できたか。いいことや悪いこともあっただろう。これらの割合が半分半分になるとは限らない。ただし、同じ出来事でもいいことと捉えるのか悪いことと捉えるかで違いがでる。意識的にポジティブな視点を持つことで「いいこと」が多い人生にできると思う。

イチローさんは、自分の成功についてこう語っている。「特別なことをするために、特別なことをするのではなく、普段どおりの当たり前のことを、当たり前にやる。」これは、日々の努力を積み重ねることが大切だということを意味している。また、失敗については、「僕は天才ではありません。だからこそ、成功するためには人の何倍も努力しなければならなかった。」成功するためには失敗がつきものであり、その失敗を乗り越えるためには、諦めずに努力を続けることが大切である。結果がでなくても諦めず、少しずつでも努力を続けることが重要。ぜひ新しい学年でも目標を立てて、挑戦してほしいと思う。

◆転任職員の紹介◆

転任職員については、配布した通信で御確認ください。

転任職員代表のあいさつ（江口教頭先生）

「We Love Kawasoe」12年前に川副中に勤務していた時の合い言葉です。教頭として2回目の勤務で、この言葉は聞かれなくなりましたが、先輩から後輩へ、行事・生徒会活動・部活動とみんなでよい伝統が受け継がれていると感じています。これからみなさんと、よい学校をつくりあげていきましょう。そして、川副中学校がみなさんから愛される学校であり続けて欲しいと思います。

みんなの表彰

- ◆文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会出場
(3月21日～ @岡山県倉敷市)
2年3組 SAさん(所属:IKBBC 小城)
- ◆佐賀市長旗争奪中学生ソフトテニス大会
団体第3位 男子ソフトテニス部

- ◆西川副きずな祭ボランティア感謝状 1年1組 IMさん 1年1組 MSさん 1年2組 TSさん
1年2組 THさん 1年2組 KYさん 川副中吹奏楽部のみなさん
- ◆第22回全日本年賀状大賞コンクール絵手紙部門 中学生の部入選 1年1組 IMさん

第67回卒業式 式辞 人生で大切にしてほしいことは 開催

3月7日（金）、第67回卒業式を開催しました。多くの来賓や保護者の方、川中関係者に見守られ、3年生90名が川中を巣立っていきました。校長からは式辞では以下の内容をお話しました。人生を歩んで行くうえで大切にしてほしいことは、人と人との「縁」。縁を大切し、人と人とのつながりを感じることが人生を良い方向へ導き、そして自分自身の成長につながると思う。縁は一見、偶然だと考えられがちだが、必然であると思う。夢に向かって懸命に努力している人には手を差し伸べてくれる人が現れ、ポジティブな行動は、新しく、素晴らしい縁を呼び込む。縁を大切にし、その縁を見逃さず、素敵な縁を感じながら、共に喜び、共に笑い、共に泣ける人を探してほしい。そして、感謝の気持ちをもって生きていくことが、人生をよりよいものにしてくれると思う。「縁と感謝」を大切にしてい、素晴らしい人生を創ってほしい。

2年生徒会長の KH さんは送辞で、「私達下級生と向き合い、前向きに努力される先輩方の姿に憧れ、全校生徒が創り上げていく川副中にしたいと強く思いました。先輩方の足跡を受け継ぎながら、さらに魅力ある川副中に向けて笑顔で突き進んでいきます」と卒業生に誓いました。

3年生徒会長の KH さんは答辞で、「私の学校生活は、いろんな人に支えられた毎日でした。日々の生活、部活動、生徒会活動みなさんの支えがあって今日を迎えることができました。在校生の皆さん、生徒会活動への協力ありがとうございました。安心して川副中を任せられます。さらにレベルアップした学校にしてください」と支えてくれたすべての人への感謝とともに、在校生へ期待と激励が込められていました。感動的な卒業式でした。

◆◆NHK アナウンサーと考える防災教室◆◆

3月5日（水）に1,2年生を対象に、NHK 佐賀放送局の I アナウンサーを講師にお招きして、防災教室を開催しました。この教室は、命を守る呼びかけ方を考えることで、防災への意識を高めることを目的としています。I アナウンサーからは、「TV で身の危険を伝えるより、身近な人が伝えた方がより行動につながる。自信をもって伝える人になってほしい」とコメントをいただきました。また、2018年西日本豪雨では、岡山県民 860 万人に避難を呼びかけたが、わずか 0.5%の人しか避難所への避難がなかったことや、人には自分は大丈夫というような思いこむ落とし穴があることを教えていただきました。

生徒からの感想は、2年3組 EY さんは「言葉によっては相手が大丈夫と思って避難しない可能性があるから、言葉選びは重要だと知った」、1年2組 NA さんは「家族でハザードマップの確認などしてもしもの時に備えたい。緊急時には、自信をもって周りの人に伝え、少しでも被害に遭う人を少なくしていきたい」でした。

写真は配布した通信で
御確認ください。

I アナ＝上

伝え方の練習をする生徒＝下

《保護者の皆様及び地域の皆様へのお礼》

おかげさまで、本日、修了式を開催し令和6年度教育課程の全てを終了することができました。引き続き、生徒や保護者の方に「川副中で良かった」と思っていただけよう、また学校が地域に貢献できるよう、職員一同さらに精進してまいります。令和7年度も生徒の活躍ぶりなどを川中 TIME で発信しますのでご覧ください。1年間、ありがとうございました。